



Sun Enterprise™ 10000 IDN エラーメッセージ

Sun Microsystems, Inc.
901 San Antonio Road
Palo Alto, CA 94303-4900
U.S.A.650-960-1300

Part No. 806-6967-10
Revision A, 2001 年 2 月

Copyright 2001 Sun Microsystems, Inc., 901 San Antonio Road, Palo Alto, CA 94303-4900 U.S.A. All rights reserved.

本製品およびそれに関連する文書は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社による事前の許可なく、本製品および関連する文書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

Federal Acquisitions: Commercial Software—Government Users Subject to Standard License Terms and Conditions.

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョーベイマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, AnswerBook2, docs.sun.com, Sun Enterprise, OpenBoot は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) の商標もしくは登録商標です。

サン・ロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

Java およびその他の Java を含む商標は、米国 Sun Microsystems 社の商標であり、同社の Java ブランドの技術を使用した製品を指します。

OPENLOOK, OpenBoot, JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

Netscape, Navigator は、米国 Netscape Communications Corporation の商標です。Netscape Communicator については、以下をご覧ください。Copyright 1995 Netscape Communications Corporation. All rights reserved.

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

本書には、技術的な誤りまたは誤植のある可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法(外為法)に定められる戦略物資等(貨物または役務)に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典： Sun Enterprise 10000 IDN Error Messages
Part No: 806-5231-10
Revision A



Sun Enterprise 10000 SSP の権利の帰属:

本ソフトウェアの著作権は、カリフォルニア大学、米国サン・マイクロシステムズ、そのほか、関係する個人または組織が所有します。個別ファイルに権利の放棄が明示されていない限り、本ソフトウェアに関係するあらゆるファイルには、下記条件が適用されます。

作者は、既存の著作権告知文があらゆるコピーに留められること、また告知文がそのまま頒布版に含まれることを条件に、いかなる目的でも本ソフトウェアおよび関連文書を使用、複製、変更、修正、頒布、ライセンスすることを許可します。この条件を満たす限り、使用にあたり、書面による合意、ライセンスの付与、使用料の支払いは必要ありません。本ソフトウェアに加えられた修正部分の著作権は、その適用を受ける各ファイルの先頭ページに新しい条件を明記する限り、その作者が所有するものとし、ここに規定されているライセンス条件に従う必要はありません。

作者が次に記す損害の可能性について事前の通知を受けていたとしても、作者および頒布元は、本ソフトウェア、その関連文書、またその派生物を使用することによって生じた直接、間接、特別、付随、結果損害についていかなる個人または組織にも責任を負いません。

作者および頒布元は、商品性、特定の目的への適合性、侵害行為がないことの黙示の保証を含めて、いかなる保証も行いません。本ソフトウェアは「現状のままのもの」として提供されており、作者および頒布元は、保守、サポート、アップデート、機能強化、修正を提供する義務を負いません。

米国政府関連の方は以下をお読みください。 Use, duplication, or disclosure by the U.S. Government is subject to restrictions of FAR 52.227-14(g)(2)(6/87) and FAR 52.227-19(6/87), or DFAR 252.227-7015(b)(6/95) and DFAR 227.7202-3(a).

本ソフトウェア、scotty は、TCP/IP ネットワークに関する情報を取得するための、いくつかの特殊なコマンドからなる、簡単な tcl インタプリタです。 Copyright (c) 1993, 1994, 1995, J. Schoenwaelder, TU Braunschweig, Germany, Institute for Operating Systems and Computer Networks. この著作権告知文があらゆるコピーに付記されることを条件に、いかなる目的でも、無料で本ソフトウェアおよびその関連文書を使用、複製、修正、頒布することを許可します。 Braunschweig 大学は、本ソフトウェアの目的適合性についていかなる表明もしません。本ソフトウェアは、黙示および明示的な保証無しに「現状のまま」で提供されます。

目次

はじめに	ix
対象読者	ix
マニュアルの構成	ix
UNIX コマンドの使い方	x
書体と記号について	x
シェルプロンプト	xi
関連マニュアル	xi
1. IDN のエラーの概要	1
このマニュアルの表の利用法	1
オンライン検索	2
特別な表記規則	2
ドメインでの IDN エラーメッセージ	2
2. ドメイン上の IDN のエラーメッセージ、通知、およびパニック	5
ドメインの IDN メッセージ	5

表目次

表 2-1	個々のドメインに対して発生する IDN エラーの番号	5
表 2-2	個々のドメインに対して発生する IDN メッセージ 100 ~ 142	7
表 2-3	個々のドメインに対して発生する IDN メッセージ 200 ~ 242	15
表 2-4	個々のドメインに対して発生する IDN メッセージ 300 ~ 307	23
表 2-5	個々のドメインに対して発生する IDN メッセージ 400 ~ 450	24
表 2-6	個々のドメインに対して発生する IDN メッセージ 500 ~ 516	24

はじめに

このマニュアルでは、Sun Enterprise™ 10000 ドメインにおいて発生する InterDomain Networks (IDN) のエラーメッセージについて説明します。

対象読者

このマニュアルは、UNIX® システム (特に Solaris™ オペレーティング環境のシステム) についての十分な知識を持つ Sun Enterprise 10000 server のシステム管理者を対象にしています。もしそのような知識をお持ちでない場合は、まずこのシステムに付属している AnswerBook2™ の『Solaris User Collection - Japanese』および『Solaris System Administrator Collection - Japanese』をお読みください。

マニュアルの構成

このマニュアルは、以下の章で構成されています。

第 1 章では、IDN のエラーメッセージの概要を説明します。

第 2 章では、ドメインで発生する IDN のエラーメッセージについて説明します。

UNIX コマンドの使い方

このマニュアルには、基本的な UNIX コマンドの説明も、システムの停止や起動、デバイスの設定などの手順の説明も含まれていません。

これらの詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

- Solaris ソフトウェア環境用の AnswerBook2 オンラインマニュアル
- このシステムに付属している他のソフトウェアマニュアル

書体と記号について

書体または記号	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例。	.login ファイルを編集します。 ls -a を実行します。 % You have mail.
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して表します。	% su Password:
<i>AaBbCc123</i> またはゴシック	コマンド行の可変部分。実際の名前や値と置き換えてください。	rm <i>filename</i> と入力します。 rm ファイル名 と入力します。
『』	参照する書名を示します。	『Sun Enterprise 10000 IDN エラーメッセージ』
「」	参照する章、節、または、強調する語を示します。	第 2 章「ドメインの IDN エラーメッセージ」を参照。 この操作ができるのは「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅をこえる場合に、継続を示します。	% grep `^#define \ XV_VERSION_STRING`

シェルプロンプト

シェル	プロンプト
UNIX の C シェル	<i>machine_name%</i>
UNIX の Bourne シェルと Korn シェル	\$
スーパーユーザー (シェルの種類を問わない)	#

関連マニュアル

分類	タイトル	Part No.
ユーザーマニュアル	Sun Enterprise 10000 IDN 構成マニュアル	806-6972
	Sun Enterprise 10000 InterDomain Networks ユーザーマニュアル	806-5036

第1章

IDN のエラーの概要

この章では、ドメインにおいて発生する IDN のエラーメッセージの概要について示します。

注 – このマニュアルに載っていないエラーメッセージに関しては、「Sun Enterprise 10000 SSP 3.4 Collection - Japanese」の『Sun Enterprise 10000 InterDomain Networks ユーザーマニュアル』を参照してください。

このマニュアルの表の利用法

このマニュアルの表から特定のエラーメッセージを検索する前に、以下のヒントをよく読んでください。

- エラーメッセージ内の特定のテキスト文字列を使って検索する。
- 具体的な数値で検索しない。このマニュアルでは、数値は置換可能な変数として表記されている。
- 置換可能な文字列で検索しない。このマニュアルでは、*descriptive message*、*errno_description*、*device_name*、*target_path*、*mount_point*、*interface_name_instance*、*interface_name* および *partition_name* は、エラーメッセージ内の置換可能な文字列として表記されている。
- このマニュアルをハードコピーで読む場合は、それぞれの表はエラーまたは障害の種類ごとに分類されている。表の内容はアルファベットの降順に並べられている。

オンライン検索

AnswerBook2™ 環境の検索エンジン、またはブラウザの検索エンジンを使用して、エラーメッセージ中の特定の文字列を検索できます。検索文字列は、このマニュアルに示されている特別な表記規則を念頭において作成してください。すべての表を個々に検索する必要がある場合もあります。エラーの種類（つまり、エラーが発生したところ）がわかる場合は、2 ページの「ドメインでの IDN エラーメッセージ」を使用して検索を開始します。

特別な表記規則

このマニュアルの表には、エラーの種類によって変化する語や値の名前に適用される特別な表記規則があります。エラーメッセージでは、それらの名前が、斜体で総称で示されていることに注意してください。以下にこのマニュアルでよく使用されている総称を示します。

- ドメイン ID の値を示す *domain_ID*
- すべてのドメインの名前を示す *domain_name*
- IDN コマンドとともに使用されるドメインの名前を示す *domain_name_a*、*domain_name_b*、*domain_name_c*
- Sun Enterprise™ 10000 プラットフォームの名前を示す *platform_name*
- プロセス ID (pid 番号) の値を示す *process_id*
- システムボードの番号 (1 ~ 15) を示す *system_board_number*
- 数値を示す *XX*

ドメインでの IDN エラーメッセージ

このマニュアルには、IDN コマンドを実行するドメインで発生する IDN メッセージを示します。表 2-1 には、IDN errno 値のメッセージ名、番号、およびその説明を示します。この表から、メッセージ表で使用される表記規則もある程度わかります。

表 2-2 から表 2-6 には、ドメイン内で発生する一般的な **InterDomain Networks** のエラー、通知、およびパニックを示します。これらの表には、エラーの表示内容、原因、および対処方法を示します。通知については、通知の表示内容とメッセージの原因を示します。

次のリンクのいずれかを使って検索を開始してください。

5 ページの表 2-1 : `errno` のメッセージを示します。

7 ページの表 2-2 : 100 ~ 142 のメッセージを示します。

15 ページの表 2-3 : 200 ~ 242 のメッセージを示します。

23 ページの表 2-4 : 300 ~ 307 のメッセージを示します。

24 ページの表 2-5 : 400 ~ 450 のメッセージを示します。

24 ページの表 2-6 : 500 ~ 516 のメッセージを示します。

第2章

ドメイン上の IDN のエラーメッセージ、通知、およびパニック

この章では、ドメイン上で発生する IDN エラーの番号と、ドメイン上で発生する IDN のエラーメッセージ、通知、およびパニックを示します。

これらのメッセージの出力先は、個々のエラーまたは障害の発生場所によって決まります。一部のエラーでは、エラーまたは障害の診断のために発生場所と出力先の両方の情報が必要になります。

ドメインの IDN メッセージ

ドメイン上で発生する IDN メッセージの出力先は以下のとおりです。

- netcon(1M) コンソールウィンドウ
- /var/adm/messages
- \$SSPLOGGER/*domain_name*/messages

以下の表に、個々のドメインに対して発生する IDN エラーの番号を示します。

表 2-1 個々のドメインに対して発生する IDN エラーの番号

メッセージ	番号	説明
IDNKERR_DRV_DISABLED	0x100	IDN ドライバが無効になっています。
IDNKERR_DATA_LEN	0x101	シングチャープロック (BBSRAM) 内の IDN 領域の境界が IDN ドライバと SSP 間で合っていません (P0 は長さを表します)。

表 2-1 個々のドメインに対して発生する IDN エラーの番号 (続き)

メッセージ	番号	説明
IDNKERR_INFO_FAILED	0x102	SSI_INFO コマンドが失敗しました (技術的にのみ)。
IDNKERR_INVALID_DOMAIN	0x103	無効なドメイン ID が指定されました (P0 はドメイン ID を、P1 は CPU ID を表します)。
IDNKERR_INVALID_FORCE	0x104	無効な強制オプションが渡されました (P0 は強制オプションを表します)。
IDNKERR_INVALID_CMD	0x105	無効な IDN コマンドが要求されました (P0 はコマンドを表します)。
IDNKERR_INVALID_WTIME	0x106	IDN 操作に対して無効な待ち時間が指定されました (P0 は待ち時間を表します)。
IDNKERR_SMR_CORRUPTED	0x107	SMR メモリーが破壊されています (P0 は、SMR メモリーの破壊が検出されたドメインの ID を表します)。
IDNKERR_CPU_CONFIG	0x108	ドメイン ID が IDN に対応するように構成されていません。メモリーのホストとなる各システムボードには、少なくとも 1 つの CPU が搭載されている必要があります (P0 はドメイン ID を表します)。
IDNKERR_HW_ERROR	0x109	ドメインは、ドメイン ID への IDN 接続をサポートするようにハードウェアを適切にプログラムすることができませんでした (P0 はドメイン ID を表します)。
IDNKERR_SIGBINTR_LOCKED	0x10a	ホスト上のシグニチャーブロック割り込みロックが現在ロックされています。
IDNKERR_SIGBINTR_BUSY	0x10b	シグニチャーブロック割り込みハンドラのスレッドが現在アクティブです。
IDNKERR_SIGBINTR_NOTRDY	0x10c	シグニチャーブロック割り込みハンドラのスレッドが初期化されていません。
IDNKERR_CONFIG_FATAL	0x10d	ドメイン ID との構成情報の交換中にエラーが発生しました。欠落している情報があります (P0 はドメイン ID を表します)。
IDNKERR_CONFIG_MULTIPLE	0x10e	接続の確立時に交換された構成パラメタ間に複数の競合がありました (P0 はドメイン ID を表します)。
IDNKERR_CONFIG_MTU	0x10f	ドメイン間で MTU サイズが一致しません (P0 はドメイン ID を、P1 は期待値を、P2 は実際の値を表します)。
IDNKERR_CONFIG_BUF	0x110	idn_smr_bufsize 変数の値がドメイン間で矛盾しています (P0 はドメイン ID を、P1 は期待値を、P2 は実際の値を表します)。

表 2-1 個々のドメインに対して発生する IDN エラーの番号 (続き)

メッセージ	番号	説明
IDNKERR_CONFIG_SLAB	0x111	SMR のスラブサイズの値がドメイン間で矛盾しています (P0 はドメイン ID を、P1 は期待値を、P2 は実際の値を表します)。
IDNKERR_CONFIG_NWR	0x112	idn_nwr_size 変数の値がドメイン間で矛盾しています (P0 はドメイン ID を、P1 は期待値を、P2 は実際の値を表します)。
IDNKERR_CONFIG_NETS	0x113	idn_max_nets 変数の値がドメイン間で矛盾しています (P0 はドメイン ID を、P1 は期待値を、P2 は実際の値を表します)。
IDNKERR_CONFIG_MBOX	0x114	idn_mbox_per_nets 変数の値がドメイン間で矛盾しています (P0 はドメイン ID を、P1 は期待値を、P2 は実際の値を表します)。
IDNKERR_CONFIG_MCADR	0x115	受信した MCADR の数が、ドメインからレポートされた MCADR の数と一致しません (P0 はドメイン ID を、P1 は期待値を、P2 は実際の値を表します)。
IDNKERR_CONFIG_MCADR	0x116	リモートドメインからレポートされなかったボードの MCADR を受信しました (P0 はドメイン ID を、P1 は期待値を、P2 は実際の値を表します)。
IDNKERR_CONFIG_CKSUM	0x117	idn_checksum パラメタの値が、ドメイン間で一致していません (P0 はドメイン ID を、P1 は期待値を、P2 は実際の値を表します)。
IDNKERR_CONFIG_SMR	0x118	マスタードメインの SMR がスレーブドメインには大きすぎます (P0 はドメイン ID を、P1 は期待値を、P2 は実際の値を表します)。

以下の表に、個々のドメインに対して発生するエラー、通知、およびパニックを示します。

表 2-2 個々のドメインに対して発生する IDN メッセージ 100 ~ 142

エラー	説明	回復方法
WARNING: IDN: 100: sigblock area misaligned (bytes) != exp (bytes)	このメッセージは、IDN ドライバ内のシグニチャーブロックのデータ構造体のバージョンと IDN 用に予約されたシグニチャーブロックの領域の不一致を示します。	ドメイン間のリンクを解除してから、IDN を作成し直します。

表 2-2 個々のドメインに対して発生する IDN メッセージ 100 ~ 142 (続き)

エラー	説明	回復方法
WARNING:IDN:101: not in expected OFFLINE state for DDI_RESUME	IDN ドライバが、DR ドライバが DDI_RESUME 操作を実行するために必要な状態になっていません。	ドメインをリンク解除してから、再リンクします。
NOTICE: IDN: 102 driver disabled - check OBP environment (idn-smr-size)	IDN ドライバが初期化されていません。	OpenBoot PROM (OBP) 変数の idn-smr-size が適切に設定されているかどうかを確認します。この変数の詳細は、『Sun Enterprise 10000 IDN 構成マニュアル』を参照してください。
WARNING: IDN: 103: unable to reference sigblock area	sgnblk_poll_reference() ルーチンの初期化に失敗しました。起動シーケンスで IDN ドライバの読み込みが早すぎた可能性があります。	オペレーティングシステムの起動後にモジュールを再度読み込みます。
WARNING: IDN: 104: cannot suspend while active (state = <i>GSTATE</i>)	IDN ドライバは、使用中は中断できません。	IDN ドライバが現在の伝送を完了するまで待つか、または DR 操作を開始する前に IDN からドメインをリンク解除します。
WARNING: IDN: 105: driver parameter (<i>parameter</i>) specified (<i>number</i>) out of range [<i>low_value</i> - <i>high_value</i>]	指定されたパラメタの値が、IDN に使用できる値の範囲から外れています。	許容範囲内の値でパラメタを再設定します。
WARNING: IDN: 106: idn_nwr_size (<i>Mbytes</i>) > idn_smr_size(<i>Mbytes</i>) - Limiting to <i>number</i> MB	idn_nwr_size 変数の値が、idn_smr_size 変数の値を超えています。idn_nwr_size の値は、idn_smr_size の値を超えることはできません。	IDN ドライバは、Network Region (NWR) のサイズを共有メモリ領域 (SMR) 合計サイズまで減らします。IDN が SMR の現在のサイズよりも大きい NWR を必要とする場合は、NWR のサイズを適切な値まで大きくできるように SMR のサイズを大きくします。

表 2-2 個々のドメインに対して発生する IDN メッセージ 100 ~ 142 (続き)

エラー	説明	回復方法
WARNING: IDN: 107: memory region(<i>bytes</i>) < slab size(<i>bytes</i>)	<code>idn_nwr_size</code> 変数の値が、SMR 内のいずれかのスラブのサイズを下回ります。	<code>idn_smr_size</code> または <code>idn_nwr_size</code> の値を、SMR 内の最小バッファのサイズよりも大きくします。あるいは、IDN 内の各スラブのサイズが <code>idn_nwr_size</code> の値よりも小さくなるまで <code>idn_slab_bufcount</code> などの調整可能な変数を再設定します。
WARNING: IDN: 108: <code>idn_lowat</code> (<i>bytes</i>) >= <code>idn_hiwat</code> (<i>bytes</i>)	IDN STREAMS の低ウォーターマークと高ウォーターマークに指定した値が不適切です。	適切な値になるように、 <code>idn_lowat</code> の値を小さくするか、または <code>idn_hiwat</code> の値を大きくします。これらのパラメタの適切な値の詳細は、『Sun Enterprise 10000 IDN 構成マニュアル』を参照してください。
WARNING: IDN: 109: mailbox area(<i>bytes</i>) + slab size(<i>bytes</i>) > nwr region(<i>bytes</i>)	メールボックス領域変数の <code>idn_mbox_size</code> とスラブサイズ変数の <code>idn_slab_size</code> に指定した値が適切ではありません。	NWR のサイズを大きくできるように、NWR または SMR のサイズを大きくします。チャンネル当たりのメールボックス数 <code>idn_mbox_per_channel</code> やスラブ当たりの入出力バッファ数 <code>idn_slab_bufcount</code> など、他の変数のサイズを小さくすることもできます。
WARNING: IDN: 110: maximum number of slabs(<i>number</i>) < minimum required(<i>number</i>)	<code>idn_slab_maxtotal</code> 変数の値が、必要とされる最小値を下回っています。この変数の値は、IDN ドライバが算出します。IDN ドライバは、この値が IDN の公称最小値を下回ると警告を返します。	<code>idn_slab_mintotal</code> 変数の値を小さくするか、または SMR により多くのスラブを確保できるように SMR の値を大きくします。このエラーから回復するには、 <code>idn_slab_bufcount</code> などのその他のドライバパラメタの値を調整する必要があります。
WARNING: IDN: 111: <code>idn_smr_bufsize</code> (<i>bytes</i>) not on a 64 byte boundary	<code>idn_smr_bufsize</code> 変数の値は、64 の倍数である必要があります。	<code>idn_smr_bufsize</code> 変数の値を 64 の倍数に設定し直します。

表 2-2 個々のドメインに対して発生する IDN メッセージ 100 ~ 142 (続き)

エラー	説明	回復方法
WARNING: IDN: 112: idn_smr_bufsize (<i>bytes</i>) not a power of 2	idn_smr_bufsize 変数の値は、2 の累乗値に設定する必要があります。	idn_smr_bufsize 変数を 2 の累乗値に設定し直します。
WARNING: IDN: 113: idn_mbox_per_net (<i>number</i>) must be an odd number	ハッシングが適切に行えるように、idn_mbox_per_net 変数の値は奇数である必要があります。	idn_mbox_per_net 変数の値を奇数に設定し直します。
WARNING: IDN: 115: idn_netsvr_wait_min (<i>seconds</i>) cannot be greater than idn_netsvr_wait_max (<i>seconds</i>)	IDN ネットワークサーバーの最小待ち時間は、最大待ち時間を超えることはできません。	idn_netsvr_wait_min の値を小さくするか、 idn_netsvr_wait_max の値を大きくします。
WARNING: IDN: 116: failed rmalloc(kernelmap, <i>number</i> pages)	オペレーティングシステムが SMR をマッピングする仮想アドレス空間のページ <i>number</i> の割り当てに失敗しました。	ドメインを再起動してから、IDN へのリンクを試みます。
WARNING: IDN: 117: IDN not enabled	IDN が有効になっていなかったために (つまり、idn-smr-size が 0 に設定されている)、IDN ドライバは IDN の初期化に失敗しました。	OBP プロンプトで、nnd(1M) コマンドを使用して idn-smr-size 変数の値を確認します。この値が 0 に設定されている場合は、IDN を有効にし SMR のサイズを設定するため、これを適切な値に設定し直します。この変数の値を変更した場合は、ドメインを再起動する必要があります。

表 2-2 個々のドメインに対して発生する IDN メッセージ 100 ~ 142 (続き)

エラー	説明	回復方法
WARNING: IDN: 118: hardware config not appropriate	<p>リンクしようとしているドメイン内のハードウェア構成が IDN に適していないか、IDN ドライバがハードウェア構成を確認できません。</p> <p>ドメイン内のハードウェア構成が、以下のいずれかの場合は、このエラーの原因になることがあります。</p> <p>メモリーのホストとなるシステムボードに CPU が搭載されていません。当該ドメインが IDN にリンク可能と見なされるためには、各ドメイン内のシステムボード全体で少なくとも 1 つの CPU が搭載されている必要があります。</p> <p>CPU が搭載されていないシステムボードがドメインに組み込まれるのを防止する方法については、SSP のマニュアルページの <code>postrc(4)</code> にある <code>no_non_proc_boards</code> オプションの説明を参照してください。</p> <p>IDN ドライバからレジスタを操作できるように CIC 上の共有メモリーマスクが有効になっていません。</p>	<p>メモリーのホストとなる各システムボードに少なくとも 1 つの CPU があり、SSP 上で SSP 3.2 以降のソフトウェアが動作しているようにします。</p>
WARNING: IDN: 119: failed to initialize <i>number</i> protocol servers	<p>IDN ドライバが、IDN 接続を管理する <i>number</i> プロトコルサーバーの起動に失敗しました。通常、このエラーは、カーネルの資源の使い過ぎにより発生します。</p>	<p>IDN ドライバを再度読み込みます。このエラーが繰り返し発生する場合は、可能であれば、他のアプリケーションが使用するメモリーの量を減らします。</p>
WARNING: IDN: 120: cannot deinit while active (state = <i>GSTATE</i>)	<p>DR 操作が、IDN ドライバの使用 (つまり、オフラインでないとき) に IDN ドライバの初期化解除を試みました。</p>	<p>ドメイン上で DR 操作を開始する前に、そのドメインをすべての IDN から完全にリンク解除してください。</p>

表 2-2 個々のドメインに対して発生する IDN メッセージ 100 ~ 142 (続き)

エラー	説明	回復方法
IDN: 121: domain <i>domain_ID</i> (cpu <i>CPUID</i> , name " <i>host</i> ", state <i>DSTATE</i>)	このエラーは、各ドメイン接続の IDN の状態を表示します。このエラーメッセージは、メッセージ 104 および 120 とともに表示されます。	エラーメッセージの 104 および 120 を参照してください。
WARNING: IDN: 123: unexpected M_DATA packets for q_stream <i>VADDR</i>	IDN ドライバ内の STREAMS 読み込み手続きが、予期されないデータパケットを対応するストリームキューで受信しました。このパケットは破棄されます。	このエラーが繰り返し発生する場合は、問題を購入先に報告してください。
WARNING: IDN: 124: sigblk for cpuid <i>CPUID</i> is NULL	問題の CPU は、SSP からのメッセージを受信するはずでしたが、その CPU 用のシグニチャブロック (BBSRAM) のデータ構造体が適切に割り当てられていませんでした。	IDN ドライバの読み込みを取り消してから、再度読み込みます。そのようにしてもうまくいかない場合は、ドメインをリンク解除してから、再起動します。起動に成功した後、再リンクします。
WARNING: IDN: 125: op (<i>IDNOP</i>) failed, returning (<i>errno/IDNERR</i> [<i>EPARAM0</i> , <i>EPARAM1</i> , <i>EPARAM2</i>])	IDN 操作 (リンク、リンク解除、情報入手など) が失敗しました。このメッセージの中の <i>errno</i> はエラー番号に、 <i>IDNERR</i> は IDN エラーに等しく、 <i>EPARAM2</i> はこの種類の IDN エラーによって決まるパラメータを表します。	正しいパラメータを使用したかどうかを確認してください。正しいパラメータを使用しなかった場合は、正しいパラメータで操作を再試行してください。
WARNING: IDN: 126: sighandler thread already exists (<i>VADDR</i>)	IDN ドライバが、不要な重複したシグニチャブロック割り込みハンドラのスレッドの作成を試みました。	このメッセージは無視しても問題はありません。
WARNING: IDN: 127: cannot change <i>parameter</i> while IDN connected	変更しようとした IDN の調整可能なパラメータは、ドメインが IDN にリンクされている間は変更できません。	ドメインをリンク解除してから、指定されたパラメータ (<i>parameter</i>) の設定の変更を試みてください。
WARNING: IDN: 128: cannot change <i>parameter</i> while DLPI attached	変更しようとした IDN の調整可能なパラメータは、IDN インタフェース (<i>idnX</i>) が TCP/IP 下で <i>plumb</i> されている間は変更できません。	TCP/IP 制御下のすべての IDN インタフェースを <i>unplumb</i> してから、このパラメータ (<i>parameter</i>) の設定の変更を試みてください。

表 2-2 個々のドメインに対して発生する IDN メッセージ 100 ~ 142 (続き)

エラー	説明	回復方法
WARNING: IDN: 129: IDNOP operation timed out	IDN 操作 (リンク、リンク解除、情報入手など) が、正常に完了する前に指定された待ち時間を超えました。	IDN 内に AWOL ドメインがないか確認します。ある場合は、AWOL ドメインをリンク解除してから、ローカルドメインをリンク解除します。強制オプションの <code>-f</code> または <code>-F</code> を使用できますが、注意が必要です。
WARNING: IDN: 130: IDN DMV handler already initialized	IDN ドライバによる割り込みハンドラの初期化の回数が多すぎます。	ドメインを再起動します。このエラーが繰り返し発生する場合は、購入先にお問い合わせください。
WARNING: IDN: 131; unable to allocate data area for DMV handler	IDN ドライバは、DMV ハンドラが使用する制御構造体のデータ領域を割り当てることができませんでした。	このエラーは、メモリーの使用率が高すぎると発生します。使用率が下がったときに IDN コマンドを再試行するか、高使用率の原因となっているシステムの活動の一部を停止します。
WARNING: IDN: 132: failed to add IDN DMV handler	IDN ドライバは、ドライバの内部割り込みハンドラを DMV ベースのカーネルサブシステムに登録できませんでした。	ドメインを再起動するか、IDN ドライバの読み込みを取り消して操作を再試行します。このエラーが繰り返し発生する場合は、購入先に問題を報告してください。
WARNING: IDN: 133: sigblock event area missing	IDN ドライバと SSP との間で使用されるシグニチャーブロックイベント領域が、存在しないか破壊されています。	ドメインを再起動するか、IDN ドライバの読み込みを取り消して操作を再試行します。このエラーが繰り返し発生する場合は、購入先に問題を報告してください。
IDN: 134: unable to mark boardset (BMASK) AWOL	このエラーは、SSP がボードを処理できるように、ドメイン内のどのボードを AWOL として指定できないかを示す 16 ビットのボードマスクを返します。	問題のドメインをリンク解除してから、目的のドメインに再リンクします。ドメインを再起動するか、IDN ドライバの読み込みを取り消してから操作を再試行する必要があります。
IDN: 135: idn: kstat_create failed	kstat 構造体を作成できませんでした。したがって、IDN の広域カーネル統計情報を保守できません。	ドメインを再起動し、必要な場合は、コマンドを再試行します。

表 2-2 個々のドメインに対して発生する IDN メッセージ 100 ~ 142 (続き)

エラー	説明	回復方法
WARNING: IDN: 136: "property" property not found, disabling IDN	IDN ドライバは、指定された OBP のプロパティを見つけることができなかったために、初期化に失敗しました。	SSP 上で SSP 3.2 以降のソフトウェアをインストールします。
WARNING: IDN: 137: SMR size is 0, disabling IDN	IDN ドライバは、OBP 変数の idn-smr-size がゼロ (0) に設定されているために、初期化に失敗しました。	idn-smr-size 変数の値を適切な値に設定し直します。この値は、IDN 内のすべてのドメインで同じにする必要があります。この変数の値を設定し直した後、ドメインを再起動します。
WARNING: IDN: 138: SMR size (numberMB) is too big (max = numberMB), disabling IDN	OBP 変数の idn-smr-size の値が大きすぎたために、IDN ドライバの初期化に失敗しました。	idn-smr-size 変数の値を適切な値に設定し直します。この値は、IDN 内のすべてのドメインで同じである必要があります。この変数の値を再設定した後、ドメインを再起動します。
WARNING: IDN: 139: OBP region for SMR is 0 length	OBP 変数の idn-smr-size の値がゼロ (0) に設定されているために、IDN ドライバの初期化に失敗しました。	idn-smr-size 変数の値を適切な値に設定し直します。この値は、IDN 内のすべてのドメインで同じである必要があります。この変数の値を再設定した後、ドメインを再起動します。
WARNING: IDN: 140: OPB region (bytes B) smaller than requested size (bytes B)	OBP が割り当てた SMR 領域のサイズが、OBP 変数の idn-smr-size の値を下回ります。	SSP 上で SSP 3.2 以降のソフトウェアが動作していることを確認してから、idn-smr-size 変数を適切な値に設定し直します。この値は、IDN 内のすべてのドメインで同じである必要があります。この変数の値を再設定後、ドメインを再起動します。
WARNING: IDN: 141: OPB region (PADDR) not on (hex_number) boundary	OBP が割り当てた SMR 領域が、適切なメモリアドレス境界 (64 KB) 上にありません。	SSP 上で SSP 3.2 以降のソフトウェアが動作していることを確認してから、ドメインを再起動し、操作を再試行します。

表 2-2 個々のドメインに対して発生する IDN メッセージ 100 ~ 142 (続き)

エラー	説明	回復方法
NOTICE: IDN: 142: link (domain <i>domain_ID</i> , cpu <i>CPUID</i>) connected	ドメインが、CPU <i>CPUID</i> のホストとなるドメイン <i>domain_ID</i> にリンクされました。	通知のみ

表 2-3 個々のドメインに対して発生する IDN メッセージ 200 ~ 242

エラー	説明	回復方法
NOTICE: IDN: 200: link (domain <i>domain_ID</i> , cpu <i>CPUID</i>) disconnected	ドメインのリンクが、CPU <i>CPUID</i> のホストとなるドメイン <i>domain_ID</i> から解除されました。	通知のみ
WARNING: IDN: 201: (IDNOP) invalid cpu-id (CPUID)	IDN 操作時に、IDN ドライバが CPU に無効な ID 番号を指定しました。	IDN 操作を再試行します。
WARNING: IDN: 202: (IDNOP) invalid time-out value (seconds)	無効なタイムアウト値が IDN 操作に渡されました (IDNOP = LINK/UNLINK)。	IDN 操作を再試行します。
WARNING: IDN: 203: (IDNOP) invalid domain-id (domain_ID)	無効なドメイン ID が IDN 操作に渡されました (IDNOP = LINK/UNLINK)。	IDN 操作を再試行します。
WARNING: IDN: 204: domain <i>domain_ID</i> state (DSTATE) inappropriate	ドメイン <i>domain_ID</i> が、IDN 操作が実行されたときに閉じた状態ではありませんでした。	IDN 操作を再試行します。このエラーが繰り返し発生する場合は、ドメインをリンク解除します。
WARNING: IDN: 205: (function) failed to open-domain (domain_ID, CPUID)	内部 IDN 関数 <i>function</i> が、ドメイン <i>domain_ID</i> と CPU <i>CPUID</i> を使って、IDN 接続の管理のための IDN ドメイン制御構造体を開くことができませんでした。	接続が解釈処理されるまで数分待ちます。接続を解釈処理できない場合は、ドメイン <i>domain_ID</i> を再起動します。
WARNING: IDN: 206: cannot link domains with equal votes (L (domain_ID) , R (domain_ID) , hex_number)	ローカルドメイン <i>domain_ID</i> の投票チケット <i>hex_number</i> が、リンク対象のドメイン <i>domain_ID</i> の投票チケットと同じです。投票チケットは、内部で決定され、一意である必要があります。	ローカルドメインを再起動してから、操作を再試行します。このエラーが再度発生する場合は、ドメイン <i>domain_ID</i> を再起動してから、操作を再試行します。エラーが繰り返し発生する場合は、購入先にお問い合わせください。

表 2-3 個々のドメインに対して発生する IDN メッセージ 200 ~ 242 (続き)

エラー	説明	回復方法
WARNING: IDN: 207: local/remote master-id conflict (<i>local_domain_ID</i> .lmasterid = <i>domain_ID_a</i> , <i>remote_domain_ID</i> .rmasterid = <i>domain_ID_b</i>)	ローカルドメイン <i>local_domain_ID</i> のマスター ID <i>domain_ID_a</i> が、リモートドメイ ン <i>remote_domain_ID</i> のマスター ID <i>domain_ID_b</i> と矛盾します。	IDN 操作を再試行します。このエ ラーが繰り返し発生する場合は、 両方のドメインを再起動してか ら、操作を再試行します。
WARNING: IDN: 208: idn_select_master: unknown case (<i>number</i>)	これは内部エラーです。マスター ドメインの選択時に、IDN ドライ バが予期されない状況 <i>number</i> に 遭遇しました。	操作を再試行します。このエラー が繰り返し発生する場合は、両方 のドメインを再起動してから、操 作を再試行します。
WARNING: IDN: 209: remote domain (id <i>domain_ID</i> , cpu <i>CPUID</i>) reporting master (id <i>master_domain_ID</i>) without cpuid	IDN 操作時に、リモートドメイン <i>domain_ID</i> が、ローカルドメイン へマスターの ID を返しましたが、 CPU ID は返しませんでした。	操作を再試行します。このエラー が繰り返し発生する場合は、リ モートドメインを再起動します。
WARNING: IDN: 210: failed to init MASTER context	これは内部エラーです。ローカル ドメインは、ドメインがマスター ドメインになるために必要な制御 構造体を初期化できませんでした。	ローカルドメインを再起動してか ら、操作を再試行します。
WARNING: IDN: 211: disconnect domain <i>domain_ID</i> , unexpected GSTATE (<i>GSTATE</i>)	ドメイン <i>domain_ID</i> の切断操作時 に、ローカル IDN が予期されない 広域的状态 <i>GSTATE</i> になっていま した。	ローカルドメインを再起動してか ら、操作を再試行します。
PANIC: IDN: 212: disconnect domain <i>domain_ID</i> , bad GSTATE (<i>GSTATE</i>)	ドメイン <i>domain_ID</i> の切断操作時 に、ローカル IDN が予期されない 広域的状态 <i>GSTATE</i> になっていま した。	ローカルドメインを再起動してか ら、操作を再試行します。
WARNING: IDN: 213: no destination specified (d= <i>domain_ID</i> , c= <i>channel</i> , n=0x <i>NE</i>)	ローカルドメインが、不適切な送 信先である、ネットワーク ID <i>NE</i> のチャンネル <i>channel</i> 上のドメイン ID <i>domain_ID</i> にデータパケットの 送信を試みました。	操作を再試行します。このエラー が繰り返し発生する場合は、ロー カルドメインをリンク解除してか ら、再リンクして、操作を再試行 します。

表 2-3 個々のドメインに対して発生する IDN メッセージ 200 ~ 242 (続き)

エラー	説明	回復方法
WARNING: IDN: 214: received message (MSG[0xM_number]) from self (domid domain_ID)	ローカルドメイン (ドメイン ID domain_ID) が、自分自身から IDN 接続プロトコルメッセージ MSG[0xM_number] を受信しました。	ローカルドメインを再起動してから、操作を再試行します。
WARNING: IDN: 215: invalid cookie (cookie) for message (M_number) from domain domain_ID	ローカルドメインは、無効なまたは古いクッキー cookie を持つドメイン domain_ID から IDN 接続プロトコルメッセージ M_number を受信しました。	操作を再試行します。このエラーが繰り返し発生する場合は、ローカルドメインまたはリモートドメイン、あるいはその両方をリンク解除してから、再リンクします。
WARNING: IDN: 216: (M_number)msgtype/ (A_number)acktype rcvd from domain domain_ID	ローカルドメインが、無効な IDN 接続プロトコルメッセージまたは肯定応答 (M_number/A_number) をドメイン domain_ID から受信しました。	操作を再試行します。このエラーが繰り返し発生する場合は、ローカルドメインまたはリモートドメイン、あるいはその両方をリンク解除してから、再リンクします。
WARNING: IDN: 217: unknown CFGARG type (type) from domain domain_ID	ローカルドメインがリモートドメイン domain_ID から予期されない種類 type の構成メッセージを受信しました。	操作を再試行します。このエラーが繰り返し発生する場合は、ローカルドメインまたはリモートドメイン、あるいはその両方をリンク解除してから、再リンクします。
WARNING: IDN: 218: missing some required config items from domain domain_ID	接続操作時、ローカルドメインは、ドメイン domain_ID から期待したすべての構成情報を受信しませんでした。	操作を再試行します。このエラーが繰り返し発生する場合は、ローカルドメインまたはリモートドメイン、あるいはその両方をリンク解除してから、再リンクします。
WARNING: IDN: 219: remote domain domain_ID MTU (bytes) invalid (local.mtu = bytes)	ドメイン domain_ID から受け取った MTU サイズ bytes がローカルドメインの MTU サイズ bytes と一致しません。IDN の調整可能なパラメータ idn_smr_bufsize の値は、IDN 内のすべてのドメインで同じである必要があります。	ローカルドメインまたはリモートドメインの idn_smr_bufsize パラメータの値を設定し直して、両方の値が同じになるようにします。

表 2-3 個々のドメインに対して発生する IDN メッセージ 200 ~ 242 (続き)

エラー	説明	回復方法
WARNING: IDN: 220: remote domain <i>domain_ID</i> BUFSIZE (<i>bytes</i>) invalid (local.bufsize = <i>bytes</i>)	ローカルドメインが、ローカルドメインの SMR バッファサイズと一致しない SMR バッファサイズ <i>bytes</i> をリモートドメインから受信しました。IDN の調整可能なパラメタ <i>idn_smr_bufsize</i> の値は、IDN 内のすべてのドメインで同じである必要があります。	ローカルドメインまたはリモートドメインの <i>idn_smr_bufsize</i> パラメタの値を設定し直して、両方の値が同じになるようにします。
WARNING: IDN: 221: remote domain <i>domain_ID</i> SLABSIZE (<i>bytes</i>) invalid (local.slabsize = <i>bytes</i>)	ローカルドメインが、ローカルドメインの SMR スラブサイズと一致しない SMR スラブサイズ <i>bytes</i> をドメイン <i>domain_ID</i> から受信しました。IDN の調整可能なパラメタ <i>idn_slab_bufcount</i> と <i>idn_smr_bufsize</i> の値は、IDN 内のすべてのドメインで同じである必要があります。	ローカルドメインまたはリモートドメイン、あるいはその両方のスラブサイズのパラメタを設定し直します。
NOTICE: 222: no IDN linkage found (b= <i>BMASK_a</i> , i= <i>BMASK_b</i>) upgrading unlink <i>FTYPE</i> -> FORCE_HARD	SSP が <i>FTYPE</i> でリモートドメインをローカルドメインからリンク解除するように要求しました。しかし、SSP は IDN ハードウェアレジスタのボードマスク <i>BMASK_b</i> にハードウェアリンクを見つけることができませんでした。ドメインをリンク解除するために、指定されたソフトな強制オプション <i>-f</i> がハードな強制オプション <i>-F</i> に格上げされました。	操作の必要はありません。ソフトな強制オプション <i>-f</i> により、指定したすべてのドメインが標準的な方法でリンク解除されます。ただし、IDN 内に AWOL ドメインが存在するためにタイムアウト状態が起った場合は、 <i>domain_unlink(1M)</i> コマンドにより <i>-F</i> オプションでリンクが削除され、強制的にドメインがリンク解除されます。
WARNING: IDN: 223: remote domain <i>domain_ID</i> NWRSIZE (<i>Mbytes</i>) invalid (local.nwrsize = <i>Mbytes</i>)	ローカルドメインが、ローカルドメインの <i>idn_nwr_size</i> 変数の値と一致しない <i>idn_nwr_size</i> の値をリモートドメインから受信しました。 <i>idn_nwr_size</i> の値は、IDN 内のすべてのドメインで同じである必要があります。	リモートドメインの <i>idn_nwr_size</i> 変数の値を設定し直します。

表 2-3 個々のドメインに対して発生する IDN メッセージ 200 ~ 242 (続き)

エラー	説明	回復方法
<p>WARNING: IDN: 224: remote domain <i>domain_ID</i> idn_max_nets (<i>number</i>) invalid (local.maxnets = <i>number</i>)</p>	<p>ローカルドメインが、ローカルドメインの idn_max_nets 変数の値と一致しない idn_max_nets 値をリモートドメインから受信しました。idn_max_nets の値は、IDN 内のすべてのドメインで同じである必要があります。</p>	<p>リモートドメインの idn_max_nets 変数の値を設定し直します。</p>
<p>WARNING: IDN: 225: remote domain <i>domain_ID</i> MBOX_PER_NET (<i>number</i>) invalid (local.mboxpernet = <i>number</i>)</p>	<p>ローカルドメインが、ローカルドメインの idn_mbox_per_net 変数の値と一致しない idn_mbox_per_net 値をリモートドメインから受信しました。idn_mbox_per_net の値は、IDN 内のすべてのドメインで同じである必要があります。</p>	<p>リモートドメインの idn_mbox_per_net 変数の値を設定し直します。</p>
<p>WARNING: IDN: 226: remote domain <i>domain_ID</i> CHECKSUM flag (<i>number</i>) mismatches local domain's (<i>number</i>)</p>	<p>ローカルドメインが、ローカルドメインの idn_checksum 変数の値と一致しない idn_checksum の値をリモートドメインから受信しました。idn_checksum の値は、IDN 内のすべてのドメインで同じである必要があります。</p>	<p>リモートドメインの idn_checksum 変数の値を設定し直します。</p>
<p>WARNING: IDN: 227: missing some required config items from domain <i>domain_ID</i></p>	<p>ローカルドメインが、リモートドメイン <i>domain_ID</i> から期待したすべての構成情報を受信しませんでした。</p>	<p>リンク操作を再試行します。このエラーが繰り返し発生する場合は、リモートドメインを再起動してから、リンク操作を再試行します。</p>
<p>WARNING: IDN: 228: master's SMR (<i>bytes</i>) larger than local's SMR (<i>bytes</i>)</p>	<p>マスタードメインの SMR のサイズが、ローカルドメインが SMR 用に割り当てた仮想領域を上回っています。OBP 変数の idn-smr-size は、IDN 内のすべてのドメインで同じである必要があります。</p>	<p>ローカルドメインまたはリモートドメイン、あるいはこの両方の idn-smr-size 変数のサイズを設定し直して、サイズが同じになるようにします。ドメインを再起動し、リンク操作を再試行します。</p>

表 2-3 個々のドメインに対して発生する IDN メッセージ 200 ~ 242 (続き)

エラー	説明	回復方法
WARNING: IDN: 229: remote domain <i>domain_ID</i> boardset (<i>BMASK</i>) conflicts with MCADR(board <i>number</i>) [<i>MCADR</i>]	ローカルドメインがドメイン <i>domain_ID</i> 内の <i>MCADR</i> レジスタについて矛盾する情報を受信しました。ボード <i>number</i> は、 <i>MCADR</i> が設定されているとレポートされましたが、リモートドメインの物理的なボードセット <i>BMASK</i> に存在しません。 <i>MCADR</i> は、実際の <i>MCADR</i> レジスタ値を表します。	ドメイン <i>domain_ID</i> を再起動してから、操作を再試行します。
WARNING: IDN: 230: remote domain <i>domain_ID</i> reported number of MCADRs (<i>number</i>) mixmatches received (<i>number</i>)	ローカルドメインがドメイン <i>domain_ID</i> 内の <i>MCADR</i> について矛盾する情報を受信しました。ドメイン <i>number</i> によって指定された <i>MCADR</i> の数が、そのドメインからレポートされた <i>MCADR</i> の数と一致しません。	ドメイン <i>domain_ID</i> を再起動してから、操作を再試行します。
WARNING: IDN: 231: domain <i>domain_ID</i> boardset (<i>BMASK</i>) conflicts with existing IDN boardset (<i>BMASK</i>)	ドメイン <i>domain_ID</i> のボードマスク <i>BMASK</i> 中のボードのセットが、IDN 内の既存のボード <i>BMASK</i> と重なっています。	ローカルドメインの電源投入時自己診断 (POST) で問題が発生しなかったことを確認します。ドメインをリンク解除してから、再リンクします。
WARNING: IDN: 232: domain <i>domain_ID</i> cpuset (<i>CPUSET</i>) conflicts with existing IDN cpuset (<i>CPUSET</i>)	ドメイン <i>domain_ID</i> の CPU マスク <i>CPUSET</i> 中の CPU のセットが、IDN 内の既存の CPU <i>CPUSET</i> と重なっています。	ローカルドメインの電源投入時自己診断 (POST) で問題が発生しなかったことを確認します。ドメインをリンク解除してから、再リンクします。
WARNING: IDN: 233: domain <i>domain_ID</i> missing cpu per memory boardset (<i>BMASK</i>), cpu boardset (<i>BMASK</i>)	ドメイン <i>domain_ID</i> 内の各システムボードには、メモリーのホストとなっている場合は、少なくとも 1 つの CPU が搭載されている必要があります。ボードセット <i>BMASK</i> は、メモリーが搭載されたボードを表し、ボードセット <i>BMASK</i> は少なくとも 1 つの CPU が搭載されたボードを表します。	リンク対象のドメイン内の、メモリーのホストとなる各システムボードが少なくとも 1 つの CPU を搭載していることを確認します。

表 2-3 個々のドメインに対して発生する IDN メッセージ 200 ~ 242 (続き)

エラー	説明	回復方法
WARNING: IDN: 234: failed to program hardware for domain <i>domain_ID</i> (boardset = <i>BMASK</i>)	IDN ドライバは、ボードセット <i>BMASK</i> があるドメイン <i>domain_ID</i> との共有メモリアク セスを許可するようにローカルド メインのハードウェアをプログラ ムできませんでした。	IDN 操作をさらに実行してはなり ません。適切なときにドメイン <i>domain_ID</i> を停止し、hpost(1M) コマンドを使用して完全な診断テ ストを実行します。
WARNING: IDN: 235: [<i>MBXTYPE</i>] mailbox (domain <i>domain_ID</i> , channel <i>channel</i>) SMR CORRUPTED - RELINK IDN: 235: [<i>MBXTYPE</i>] expected (cookie <i>cookie</i> , cksum <i>hex_number</i>), actual (cookie <i>cookie</i> , cksum <i>hex_number</i>) IDN: 235: [<i>MBXTYPE</i>] activeptr (<i>VADDR</i>), readyptr (<i>VADDR</i>)	ローカルドメインが、ドメイン <i>domain_ID</i> の送信または受信、あ るいはその両方のメールボックス <i>MBXTYPE</i> の制御領域が破壊され ているのを検出しました。これら のメッセージは、クッキーおよび 検査合計の期待された値と実際の 値を示します。状況に応じて、 データ伝送時に同期をとるため に使用される詳細な制御情報 (activeptr と readyptr) を含 むメッセージがさらに表示されま す。	マスタードメインをリンク解除し てから、再リンクします。このエ ラーが繰り返し発生する場合は、 IDN 全体を解消してから、再作成 します。
WARNING: IDN: 236: domain (<i>host</i>) [id <i>domain_ID</i>] not responding to <i>IDN_command</i> [# <i>number</i>] WARNING: IDN: 236: domain [id <i>domain_ID</i> , cpu <i>CPUID</i>] not responding to <i>IDN_command</i> [# <i>number</i>]	ローカルドメインが、CPU ID <i>CPUID</i> があるドメイン <i>host</i> また はドメイン ID <i>domain_ID</i> の接続 または切断を試みましたが、ドメ インが応答しません。 <i>number</i> は 検出された AWOL メッセージの 数を表します。	ドメイン <i>host</i> をリンク解除してか ら、リンク操作を再試行します。
WARNING: IDN: 237: invalid number (<i>number</i>) of protocol servers	指定した IDN プロトコルサーバ ーの数が無効です。idn.conf(4) の 調整可能なパラメタ <i>idn_protocol_nservers</i> の値 は、ゼロ (0) よりも大きくなけれ ばなりません。	idn.conf(4) ファイル中の <i>idn_protocol_nservers</i> パラ メタの値を適切な数に設定し直し ます。

表 2-3 個々のドメインに対して発生する IDN メッセージ 200 ~ 242 (続き)

エラー	説明	回復方法
WARNING: IDN: 238: kmem_cache_create (jobcache) failed	カーネルが、IDN ジョブ制御データ構造体を割り当てるための内部キャッシュを作成できませんでした。	ローカルドメインを再起動してから、リンク操作を再試行します。このエラーが繰り返し発生する場合は、ドメインから使用していないソフトウェアを削除し、リンク操作を再試行します。
WARNING: IDN: 239: invalid cpuid (CPUID) specified for IDN net channel	ローカルドメインに無効な CPU ID CPUID が指定されました。channel は、IDN データサーバーのスレッドのネットワークインタフェースを表します。	ローカルドメインに有効な CPU ID を指定して操作を再試行します。
WARNING: IDN: 240: (channel channel) SMR CORRUPTED - RELINK IDN: 240: (channel channel) cookie (expected cookie, actual cookie) IDN: 240: (channel channel) actv_flg (expected hex_number, actual hex_number) IDN: 240: (channel channel) ready_flg (expected hex_number, actual hex_number)	ネットワークインタフェース channel 用の IDN データサーバーが、SMR で破壊されたデータを検出しました。データサーバーが使用する制御情報 (cookie、actv_flg、ready_flg) の期待値と実際の値が含まれます。これ以降のデータ伝送は失敗する可能性が高くなります。	マスタードメインをリンク解除してから、再リンクします。このエラーが繰り返し発生する場合は、IDN 全体を解消してから、再作成します。
WARNING: IDN: 241: [operation] (domain domain_ID, channel channel_ID SMR CORRUPTED - RELINK)	IDN ドライバが、SMR 内のメールボックスに対してデータの送受信を試みましたが、SMR が破壊されていました。この操作は、メッセージでは send 操作または recv 操作として表示されます。これ以降のデータ転送は失敗する可能性が高くなります。	マスタードメインをリンク解除してから、再リンクします。このエラーが繰り返し発生する場合は、IDN 全体を解消してから、再作成します。
WARNING: IDN: 242: maximum channels (number) already open	IDN ドライバがサポートするよう設定された数よりも多いネットワークインタフェースを plumb することはできません。	idn.conf(4) の調整可能なパラメタ idn_max_nets を設定し直してから、操作を再試行します。

表 2-4 個々のドメインに対して発生する IDN メッセージ 300 ~ 307

エラー	説明	回復方法
WARNING: IDN: 300: no slab allocations without a master	スレーブドメインが、マスタードメインの存在なしにメモリーのスラブの割り当てを試みしました。	このエラーが繰り返し発生する場合は、ローカルドメインをリンク解除してから、再リンクします。
WARNING: IDN: 301: (SMROP) unknown slab state (<i>slab_state</i>) for domain <i>domain_ID</i>	これは、スラブ操作 <i>SMROP</i> の実行時に、 <i>SMR</i> スラブがドメイン ID <i>domain_ID</i> に対して予期されない状態であったことを示す内部エラーです。	ローカルドメインをリンク解除してから、再リンクします。
WARNING: IDN: 302: no slab free without a master	スレーブドメインが、マスタードメインの存在なしにメモリーのスラブの解放を試みしました。	このエラーが繰り返し発生する場合は、ローカルドメインをリンク解除してから、再リンクします。
WARNING: IDN: 303: buffer len <i>bytes</i> > IDN_DATA_SIZE (<i>bytes</i>)	ローカルドメインが、IDN 構成がサポート可能な長さを超える <i>SMR</i> バッファを割り当てようとしていました。	ローカルドメインをリンク解除してから、再リンクします。
WARNING: IDN: 304: buffer (<i>VADDR</i>) from domain <i>domain_ID</i> not on a <i>hex_number</i> boundary	ドメイン ID <i>domain_ID</i> からカーネル仮想アドレス <i>VADDR</i> の <i>SMR</i> バッファを受信しましたが、期待された境界 <i>hex_number</i> (バイト単位) に位置合わせされていませんでした。	ローカルドメインまたはドメイン <i>domain_ID</i> 、あるいはこの両方をリンク解除してから、再リンクします。
WARNING: IDN: 305: buffer length (<i>bytes</i>) from domain <i>domain_ID</i> greater than IDN_DATA_SIZE (<i>bytes</i>)	ドメイン ID <i>domain_ID</i> から <i>bytes</i> の長さの <i>SMR</i> バッファを受信しましたが、この長さはローカルドメインがサポート可能な長さ (<i>bytes</i> バイト) を超えていました。	ローカルドメインまたはドメイン <i>domain_ID</i> 、あるいはこの両方をリンク解除してから、再リンクします。
WARNING: IDN: 306: unknown buffer (<i>hex_number</i>) from domain <i>domain_ID</i>	ローカルドメインが、ドメイン ID の有効な範囲 (0 ~ 15) がないドメイン ID <i>domain_ID</i> から要求を受信しました。	このエラーが繰り返し発生する場合は、ローカルドメインをリンク解除してから、再リンクします。
WARNING: IDN: 307: domain id (<i>domain_ID</i>) invalid	<i>SMR</i> サブシステムが、ドメイン ID の有効な範囲 (0 ~ 15) がないドメイン ID <i>domain_ID</i> から要求を受信しました。	このエラーが繰り返し発生する場合は、ローカルドメインをリンク解除してから、再リンクします。

表 2-5 個々のドメインに対して発生する IDN メッセージ 400 ~ 450

エラー	説明	回復方法
WARNING: IDN: 400: corrupted MAC header (exp <i>hex_number</i> or 0xffff, act <i>hex_number</i>)	SMR データパケット内の MAC ヘッダーに不正なデータが入っていました。	ローカルドメインをリンク解除してから、再リンクします。このエラーが繰り返し発生する場合は、IDN 全体を解消してから、再作成します。
IDN: 450: idnX: kstat_create failed	kstat 構造体を作成できませんでした。IDN のインスタンスごとのカーネル統計情報は保守されません。	インスタンスごとのカーネル統計情報を保守する必要がある場合は、ローカルドメインを再起動します。

表 2-6 個々のドメインに対して発生する IDN メッセージ 500 ~ 516

エラー	説明	回復方法
WARNING: IDN: 500: failed to write sm_bar (lsb/msb) (<i>hex_number</i>)	SMR のプログラム時に、ローカルドメインは共有メモリーベースアドレスレジスタの (lsb/msb) の部分に値 <i>hex_number</i> を書き込むことができませんでした。	IDN 操作を実行しないでください。適切なときにローカルドメインを停止し、hpost(1M) コマンドを使用して完全な診断テストを実行します。
WARNING: IDN: 501: failed to write sm_lar (lsb/msb) (<i>hex_number</i>)	SMR へのアクセスのプログラム時に、ローカルドメインは共有メモリーリミットアドレスレジスタの (lsb/msb) の部分に値 <i>hex_number</i> を書き込むことができませんでした。	IDN 操作を実行しないでください。適切なときにローカルドメインを停止し、hpost(1M) コマンドを使用して完全な診断テストを実行します。
WARNING: IDN: 502: unable to store data (<i>hex_number</i>) to CIC buffer (PADDR)	SMR へのアクセスのプログラム時に、ローカルドメインは CIC (Coherency Interface Controller: コヘレントインタフェースコントローラ) の「前処理」バッファにデータ <i>hex_number</i> を書き込むことができませんでした。	IDN 操作を実行しないでください。適切なときにローカルドメインを停止し、hpost(1M) コマンドを使用して完全な診断テストを実行します。

表 2-6 個々のドメインに対して発生する IDN メッセージ 500 ~ 516 (続き)

エラー	説明	回復方法
WARNING: IDN: 503: (PCPROG) failed to update PC madr (expected 0xXXX, actual <i>hex_number</i>)	PCPROG (無効化または有効化) フェーズでの SMR へのアクセスのプログラム時に、ローカルドメインはメモリアドレス復号化レジスタ (MADR: Memory Address Decoding Register) のエントリーをポートコントローラ (PC: Port Controller) に書き込むことができませんでした。	IDN 操作を実行しないでください。適切なときにローカルドメインを停止し、hpost(1M) コマンドを使用して完全な診断テストを実行します。
WARNING: IDN: 504: (PCPROG) failed to update IOPC madr (expected <i>hex_number</i> , actual <i>hex_number</i>)	PCPROG (無効化または有効化) フェーズでの SMR へのアクセスのプログラム時に、ローカルドメインは I/O ポートコントローラ (IOPC: I/O Port Controller) のメモリアドレス復号化レジスタ (MADR) のエントリーを書き込むことができませんでした。	IDN 操作を実行しないでください。適切なときにローカルドメインを停止し、hpost(1M) コマンドを使用して完全な診断テストを実行します。
WARNING: IDN: 505: board <i>number</i> missing any valid PCs	ボード <i>number</i> に有効なポートコントローラ (PC) が含まれていません。	IDN 操作を実行しないでください。適切なときにローカルドメインを停止し、ボード <i>XX</i> に適切なハードウェアが搭載されていることを確認します。hpost(1M) コマンドを使用して完全な診断テストを実行する必要がある場合があります。
WARNING: IDN: 506: cic sm_mask is not writable	CIC は、POST により、オペレーティングシステムレベルのソフトウェアが共有メモリーマスクレジスタを操作しないようにプログラムされています。	SSP 上で SSP 3.2 以降のソフトウェアが動作していることを確認します。hpost(1M) コマンドを使用して完全な診断テストを実行します。
WARNING: IDN: 507: failed to map-in post2obp structure	ローカルドメインが POST2OBP データ構造体をカーネルのアドレス領域に正しくマッピングすることができませんでした。	ローカルドメインを停止してから、再起動します。再起動後、IDN に再リンクします。

表 2-6 個々のドメインに対して発生する IDN メッセージ 500 ~ 516 (続き)

エラー	説明	回復方法
WARNING: IDN: 508: post2obp checksum invalid	POST から OBP へ渡された POST2OBP データ構造体が無効です。期待された検査合計値が、このデータ構造体からレポートされた値と一致しません。	ローカルドメインを停止してから、再起動します。再起動後、IDN に再リンクします。
WARNING: IDN: 509: cpu CPUID never responded to CIC update	CIC レジスタフェーズの並行更新中、SMR へのアクセスのプログラム時に CPU CPUID が更新要求に応答しませんでした。	ローカルドメインを停止してから、再起動します。再起動後、IDN に再リンクします。
WARNING: IDN: 510: failed write-smregs (bd= <i>number</i> , bs= <i>bus</i> , sm(bar= <i>bar</i> , lar= <i>lar</i>))	ローカルドメインが、すべての共有メモリーレジスタの更新に失敗しました。障害は、システムボード <i>number</i> 、インターコネクトバス <i>bus</i> 上で発生し、ベースアドレスレジスタまたはリミットアドレスレジスタの内容はそれぞれ <i>bar/lar</i> でした。	ローカルドメインを停止してから、再起動します。再起動後、IDN に再リンクします。
WARNING: IDN: 511: update-one (cpu= <i>CPUID</i> , bd= <i>number</i>) time conflict	システム全体にわたる共有メモリーレジスタの更新時に、古い IDN ハードウェア更新操作が検出されました。	ローカルドメインを停止してから、再起動します。再起動後、IDN に再リンクします。
WARNING: IDN: 512: failed [<i>add/delete</i>] write- madr (bd= <i>number</i> , rbd= <i>remote_number</i> , madr= <i>hex_number</i>)	ローカルドメインが、リモートボード <i>remote_number</i> に関するシステムボード <i>number</i> 上の PC メモリーアドレス復号化レジスタの更新 (追加または削除、あるいはその両方) に失敗しました。 <i>hex_number</i> は、対象のレジスタの内容を表します。	ローカルドメインを停止してから、再起動します。再起動後、IDN に再リンクします。
WARNING: IDN: 513: sm- mask error (expected = <i>hex_number</i> , actual = <i>hex_number</i>)	ローカルドメインが、CIC の共有メモリーマスクで矛盾する、または予期されない値を検出しました。	ローカルドメインを停止してから、再起動します。再起動後、IDN に再リンクします。

表 2-6 個々のドメインに対して発生する IDN メッセージ 500 ~ 516 (続き)

エラー	説明	回復方法
WARNING: IDN: 514: sm-base error (expected = <i>hex_number</i> , actual = <i>hex_number</i>)	ローカルドメインが、CIC の共有メモリーベースレジスタで矛盾する、または予期されない値を検出しました。	ローカルドメインを停止してから、再起動します。再起動後、IDN に再リンクします。
WARNING: IDN: 515: sm-limit error (expected = <i>hex_number</i> , actual = <i>hex_number</i>)	ローカルドメインが、CIC の共有メモリーリミットレジスタで矛盾する、または予期されない値を検出しました。	ローカルドメインを停止してから、再起動します。再起動後、IDN に再リンクします。
WARNING: IDN: 516: (<i>local/remote</i>) board <i>number</i> has memory, but no cpus - CPU-PER-BOARD REQUIRED	ローカルドメインが、ローカルまたはリモート <i>local/remote</i> のシステムボード <i>number</i> 上にメモリーは搭載されているが、CPU は搭載されていないことを検出しました。IDN では、メモリーのホストとなるシステムボードには少なくとも 1 つの CPU が搭載されている必要があります。	ローカルドメインまたはリモートドメインを停止してから、そのハードウェア構成を確認します。CPU が搭載されていない場合は、そのドメインをブラックリストに登録してから、再リンクします。

